

3.11 東日本大震災

大地震と大津波がわたしたち東北人の尊い命と生活を無惨にも奪っていきました。



△津波により瓦礫の山になった街（岩手県釜石市内4月14日撮影）

大震災の教訓を胸に

3月11日（金）、北関東、東北地方を襲った国内観測史上最大のマグニチュード9.0の「東日本大震災」、大地震と大津波によって同じ東北人の尊い命を一瞬にして奪い、生活する町もろとも飲み込んでいった惨事は、改めて自然の猛威や災害の恐ろしさを知らされたのではないのでしょうか。鶴田町では幸いにして建物や人的被害はありませんでしたが、この地震発生から2日間にわたり全町が停電するという事態に見舞われました。また、4月7日（木）深夜、余震と見られる宮城県沖を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、東北地方が強い地震に襲われ再び町が停電に見舞われました。この震災を教訓にして、わたしたちはこれから防災に対して真剣に向き合うことが必要なのではないでしょうか。

震災当日の鶴田町

3月11日（金）、午後2時46分、強い横揺れが起こり役場庁舎内の震度計が4を記録して、町内全域で停電が発生しました。県内沿岸全域には津波警報が発令され、その後すぐに太平洋沿岸が大津波警報に切り替わり、八戸市や三陸沿岸の町が大津波に襲われるという大惨事に庁舎内に緊張が走りしました。

すぐさま町では災害対策本部を設置して、被害状況の調査を行いました。幸いにも管内では建物および人的被害はありませんでした。

しかし、停電とともに各家庭

の暖房設備が止まり、気温3度という寒さを考えた対策本部では、電気を使わない石油ストーブを各文化センターおよび鶴遊館に集め、高齢者の方々に暖をとってもらおう寒さ対策が緊急にとられました。

また、長時間にわたる停電により電話回線が不通になる恐れが生じたため、町内8か所に緊急連絡所を設け、火災や救急車の緊急出動要請に備えました。

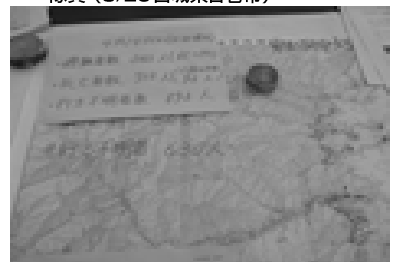
いつ復旧するのか分からない停電に、町民の方々は計り知れない不安に陥りましたが、翌12日の夕方には全町で電気が復旧して、町内は通常の状態に戻りました。



写真提供／陸上自衛隊



右／釜石市で毎日報告される被害状況中／救援物資を求めて並ぶ釜石市民
左／水没した市内から市民を救助する自衛隊員（3/26宮城県石巻市）





△町のガソリンスタンド前には500以上に及ぶ長蛇の列が

生活用品が不足する

町では震災の被害はありませんでした。翌日から東北各地の主要道路が寸断し日常生活に必要な物資の輸送が閉ざされたため、町内のスーパーやコンビニエンスストアなどから弁当やカップラーメンなどの食料品、乾電池、ろうそく、トイレレットペーパーなどの日用品が消え、わたしたちの生活を不安にさせました。また、特に深刻な問題だったのが燃料不足で、停電の復旧からガソリンスタンドは営業しましたが、一度にたくさん車が給油するために燃料がすぐに底をつき、次の給油車が入ってくるまで給油できないといった燃料不足の状態が約2週間にわたって続きました。

柔道が縁で被災地の方々が町に

3月20日(日)、地震と津波の災害、そして原子力発電所の不安から、宮城県多賀城市と仙台市太白区の3家族15人が町内の宿泊施設に一時避難されました。この避難には、東北で活躍する柔道指導者同士の交流があり、被災した仲間や子どもたちを助けたい一心から、当町で柔道を指導する太田明さん(消防署勤務)を筆頭に町柔道協会の皆さんが、家用車で被災地の近くまでガソリンを持参して赴き、途中で合流して安全な当町まで誘導して実現しました。



・写真上／被災された方々を見舞う中野町長
 ・写真右／町で用意した義援金の募金箱
 ・写真左／国際交流会館で行われた義援金受付説明会

多くの町民に義援金の協力を呼び掛ける

町では震災直後から被災地への義援金をお願いしております。

現地の状況について、被災された明石陽一さん(会社員)は「津波が引いたあと、多くの亡くなった方々を目の当たりにして、本当にこの世の終わりをみるような惨状でした。このように受け入れていただいた町や柔道協会の方々に心から感謝しています。」と語ってくださいました。(現在は、各ご家族とも安全なご親族のところへ避難されています。)

町からの義援金を被災地へ

被災地へ

このたびの震災を受け、当町では、5月の「津軽富士見湖桜まつり」と7月の「ふるさと鶴田会」のイベントが中止になり、これらの事業費から300万円を被災地への義援金として贈ることが、3月30日に行われた第1回町議会臨時会で議決されました。

4月14日(木)には、中野町長、出町議長が、柔道で町と交流のある宮城県多賀城市と行政視察等で町と交流のある岩手県釜石市の両被災市に向き、それぞれの市への町の義援金が直接手渡されました。

余震には十分注意を

現在、まだ余震活動が続いております。震源地(東北太平洋沖)より内側の広範囲で発生しています。皆さんもまだ地震に対しての十分な注意が必要です。もし地震が起きたらまず身の安全の確保を。

・写真右／釜石市では市役所が被災したため、シープラザ釜石に災害対策本部が設置されていた。災害本部で野田武則市長に義援金を手渡す中野町長と出町議長。

・写真左／多賀城市役所で菊地健次郎市長に義援金を手渡す中野町長と出町議長。

